

平成30年度家庭看護力養成講座実績報告

資料 2

	日 時	テ ー マ	講 師	会 場	参加
1	9月3日(月) 10:00~ 11:30	知って安心, 子どもの 急ぐ病気とその対応	○津山中央病院 小児科主任部長 梶 俊策先生	サンロード 吉備路コンベンションホール	100人 (ai80人 一般20人) 託児11人
2	9月27日(木) 14:00~ 15:30	こんな時どうする? ~かかりつけ医として 伝えたいこと~	○吉備医師会 小児科医 高杉 尚志先生 (高杉こどもクリニック)	総社市 阿曾分館	40人 (ai30人, 一般7人, 親子3組)
3	11月5日(月) 10:00~ 11:30	○子どものこんな時どうする? ~子どものホーム ケアについて~ ○#8000 ってなんだろう	○独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター 小児救急認定看護師 西浪 友美先生 ○岡山県医療推進課 主任 森本 健介先生	総社市 久代分館	47人 (ai40人, 一般4人, 親子3組)
4	11月21日 (水) 14:00 ~15:30	○救急時の対応 ~子どもから大人まで~ ○#8000 ってなんだろう	○吉備医師会 小児科医 三宅 真砂子先生 (三宅内科小児科医院) ○岡山県医療推進課 主任 森本 健介先生	総社市 昭和公民館	36人 (ai28人, 一般6人, 親子2組)

アンケートより抜粋

・どの症状も分かりやすく実例を用いて教えてくださったので、よく理解できたし勉強になった。我が子に起きたらどうしようと怖くなりましたが、そうならないようにしっかり予防をし、もしなっただとしても今日のことを思い出して落ち着いて対処しようと思う。

・娘と意見が違うところを教えてもらえる。今の時代のやり方、薬のことがわかってうれしい。夜の熱は本当にびっくりします。見極めが出来るようにしたいです。

・楽しいお話でした。実際のお医者様からの情報は分かりやすく、自分の常識との違いに驚かされました。子どもがいないのに、子どもを診る力、あまり関係ないと思っていましたが、自分が病院にかかる際にも参考になりました。

・#8000の件数、相談内容。かなり勉強になりました。やはり0歳児の親のみの判断を要する時期の相談が多いことは納得しました。やはり幼いお子さんを持つ保護者の方に家庭看護力養成講座を受けていただきたいと思います。